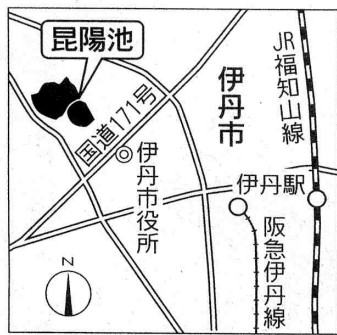




昆陽池

ドリカモ……。こうした渡り鳥を含め、多い日には約3000羽にもなる。1月中旬が飛来のパークで、2月中旬になると再び北に帰ってゆく。池は奈良時代の名僧・行基が73

キンクロハジロ、オナガガモ、ヒこの池は関西屈指の渡り鳥の飛来地。今年もシベリヤやサハリンから、渡り鳥が越冬のためにやって来ている。

はんしん

写真・文 山田哲也

19

関西屈指の 野鳥のオアシス

鳥を年中見ることができ。春には白鳥が卵を抱く抱卵や、ひなを引き連れて泳ぐ姿も観察できる。
毎日、午前9時半と午後3時の2回、餌の時間があり、給餌池にはカモや白鳥などが大集合する。この時間が一番のシャッターチャンスだ。
JR・阪急伊丹駅から伊丹市営バス「昆陽池公園前」下車。入園無料。

大阪(伊丹)空港を離陸した飛行機の左窓から、眼下に見えるのが昆陽池公園(伊丹市昆陽池3)だ。広さは27・8畝で、阪神甲子園球場の約7倍。昆陽池は、中央に日本列島の形をした野鳥の島がある自然池(12・5畝)と貯水池(4・5畝)からなる。
都市化が進む阪神間にあって昆陽池は珍しい野鳥のオアシス。カルガモ、カイツブリ、アオサギなどの水



水鳥は警戒心が強く人が近づくと逃げるが、昆陽池の水鳥は餌付けされているせいか近くで観察することができる